

岩見沢市

緑の相談コーナーだより

N O . 3 1 3 2 0 1 1 . 7 . 1 発行

岩見沢市志文町 794 番地

いわみざわ室内公園「色彩館」

身近な樹木 “エノキ”（榎） ～国蝶オオムラサキ蝶の宿る樹～



Celtis sinensis PERS.
var. japonica NAK.
エノキ

ニレ科の落葉高木で、高さ 15 ~ 20 m、胸高直径 100 cm 前後に達します。本州、四国、九州の外、台湾、中国南部、ベトナム、ラオス、タイなど暖温帯から亜熱帯の山林に分布します。しかし、北海道には、近縁種のエゾエノキが生育しており、岩見沢市の隣り、栗山町には自生が確認されております。この樹木は、タテハチョウ科のオオムラサキ蝶の繁殖に欠かせないことが知られています。オオムラサキ蝶の雄翅には大きな紫色部があり、開張 9 cm に達する美しい蝶であることから、1957 年に日本の国蝶に指定されております。したがって、エゾエノキの自生する栗山町では、このオオムラサキ蝶が繁殖し

ており、北限の国蝶が乱舞する町として有名です。

エノキは別名「ヨノキ」、「ヨノミ」、「ユノキ」などの方言で呼ばれており、柳田国男先生によると「ヨノキ」は（嘉樹）でめでたい木の意味であり、また、前川文夫氏によると、神が降臨する「タタエノキ」のタタが除かれ「エノキ」になったと名前の由来について述べています。また、「ユノキ」は（齊木）で、神聖な木を意味しており、これらはいずれも各地で神と関係づけられ、お正月の餅花をエノキにつける所もあるようです。木偏に夏と書いて「^{えのき}榎」と呼ばすのは、この大木の緑陰が夏の憩いの場であったからといわれ、昔はエノキを街道の一里塚に植えた所が多く、今でも老木が残っている所が



Celtis jessoensis KOIDZ.
エゾエノキ

多いといいます。通常は、平地や谷に接する斜面など、深い土壌の適潤な所によく生育し、根は浅根型で側根の成長がよく、細根は地表層に集まっています。やや陽性の樹木で、樹冠は大きくなり、2次林などにムクノキやケヤキなどと混交していることが多いようです。

材質と用途ですが、材はやや重硬ですが、強度は比較的小さく、狂い易い。また、変色、腐朽しやすい。木理がケヤキに似ていることから、ケヤキの代用として家具材に利用したり、建築の雑用材や薪炭材などが主な用途です。とくに薪は生木でも良く燃えるといいます。実は食用、葉は漬け物、和え物、煮付けなどにして食卓に供されます。また、実を野鳥が好むことから餌料木とされます。

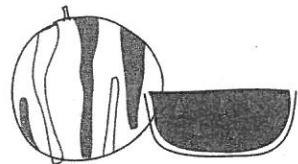
花降らす榎に憩ふ一里塚

羽田岳水

川端の岸の榎の葉をしげみ

路ゆく人の宿らぬはなし

藤原為家



公園だより

バラ園

今年は、春から寒く冷たい雨の日が続き、畑作業などが大幅に遅れてやきもきしましたが、6月からはやっと暖かくなり、バラの生長も順調に進んできました。今月のバラ園は、1年のうちで最高に豪華な花の競演を楽しめる、一番花の満開となる季節を迎えております。しかし、今年から始まったリニューアル計画に基づく作業が進行中のため、一部のバラ園が見られないのは残念ですが、中央バラ園やハマナスの丘では、色とりどりの花が咲いて、花の香りが満ちあふれています。これからバラ園は、花の季節となり、皆さんのお出でをお待ちしております。ぜひバラ園に足を運んで北国の花の季節を楽しんで下さい。

♥ 今月のバラ園からの一口メモは、先月に続いてバラの病害虫対策についてです。程度の差はあれバラを育てる上で、病害虫の発生は避けられません。病害虫対策として一番大切なことは、早くバラの異常に気づくことです。何がどう異常なのか、毎日観察し、的確な症状の把握に努めることが大切です。葉、花、枝、幹、根などの異常を識別し、原因を総合的に判断して、確実な防除に努めましょう。

室内公園色彩館では、タイサンボクの白い花が咲き続け、カクテルなど壁面のツルバラや鉢植えのモダンローズも次々に咲いております。プラシノキ、ダツラなどの花の影で咲く、メドーセージ（サルビア・コンカラー）の青紫の花が印象的です。

南国温室では、ブーゲンビレアの濃いピンクの花のトンネルを抜けると、ハイビスカスなど南国の花が咲き乱れ、パピルスやビロウ、ガジュマル、フィロデンドロンやベンガルボダイジュなどが生い茂り、ここは南国そのものです。

相談日記

問 バラを育てていますが、夏から秋ぐちになると、剪定した枝の傷の部分などに、初めは黄色から赤褐色の小さな斑点ができ、やがてこれが拡大して茎をとり巻き、周囲が暗褐色にくまどりされ、やがて茎が萎れたり枯れたりします。これは何が原因なのでしょうか？また、どのように対処すれば良いか治療法や対策などがあれば知りたいのですが。

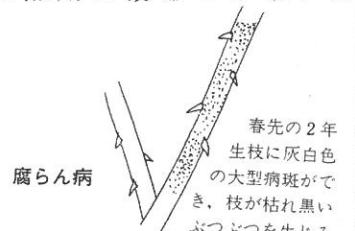
答 茎に発生して、傷口から感染している状況から判断して、バラの枝枯病（別名：キャンカー）と思われます。各地のバラ園や施設栽培で古くから発生している病気で、定植後の若い株では接ぎ木部分から発病することがあるので注意しましょう。接ぎ木部分に、褐色の変色部分が見られるとこの病気のおそれがあります。病斑周囲が暗褐色で内部が淡褐色、さらに亀裂を生じ、柄子殻の黒粒点を形成すれば、典型的な枝枯病です。この病気と類似した症状に腐らん病がありますが、腐らん病は当年生または2年生の茎に発生し、病斑は白っぽい淡褐色で周囲は赤紫色に縁どります。春の2年生枝の病斑は5～10cm以上の大型になり、黒粒点（柄子殻または子のう殻）を形成しますが、病斑に亀裂を生じることはありません。

病原の生態と発生しやすい条件 病原菌は不完全菌に属する糸状菌によって起こされます。病原菌の越年は、被害茎上に柄子殻の形で行われ、伝染源となります。この病気は空気伝染によって蔓延しますが、感染は傷の部分から行われます。特に剪定後の切り口から始まる茎の枯れ込み部では急速に病斑が進展しやすいようです。このほか、害虫の食痕や誘引による擦り傷、刺し傷なども感染を助長するおそれがあります。

防除のポイント 枝枯病に有効な薬剤防除法は明らかにされていないのが現状ですが、ウドンコ病や黒星病の薬剤散布は、傷の被覆にいくらか役立つと推定され、また、石灰硫黄合剤の休眠期散布がすこしは予防的役割を果たしていると思われます。しかし何といっても、バラの手入れをするときに、茎に無用の傷をつけないようにすることが一番で、剪定するときは熱消毒した鋭利なハサミで行いましょう。剪定箇所は着葉節のわずかに上の部分から行うようにし、節の中間で行わないようにすることもポイントです。また、発病枝は見つけしだい切除しますが、このとき、病徵の認められない健全部まで切り下げるようになります。



剪定枝の傷口から褐変。病斑
周囲は暗褐色、内部に裂目



春先の2年生枝に灰白色の大型病斑ができ、枝が枯れ黒いぶつぶつを生じる

冷涼な気候を好む代表的な秋花～リンドウ

花言葉 強い正義感



リンドウ科ゲンチアナ属の耐寒性多年草で、温帯から寒帯、山岳地帯に広く分布します。耐寒性が強く、やや湿り気のある有機質に富んだ土を好み、市場に流通しているのは、おもにササリンドウ、エゾリンドウ、ミヤマリンドウとこれらの交配種です。切り花で出回るのはエゾリンドウ、ミヤマリンドウで、青紫、白、桃色などがあります。また、鉢植えとしてはエゾオヤマリンドウが人気です。ところで、属名のゲンチアナは、この薬草を発見したという古代ローマの王ゲンティウスに因んで名づけられました。漢字でリンドウを竜胆と書きますが、これは根が胆汁のように苦く、それも竜（最上の意味）の胆のようだということから名付けされました。澄んだ青紫色の花が、秋の山野を彩りますが、春咲きや夏咲き種もあります。茶色くなりかけた花からは、摘み取れないのでハサミで切り取り、下の蕾が咲くように管理します。鉢植えなどの置き場所は、日当たりの良い場所にすると、日光が蕾の開花を促します。

7～8月の園芸講座・行事案内

市民園芸講座の内容紹介

◆バラ園のバラを使ったアレンジメント

日時 7月 10日（日） 13：00～15：00

講師 フラワーデザイナー 富井加代子 さん 定員 30人 材料代 1000円



◆バラの美しい写真の写し方

日時 7月 17日（日） 10：00～12：00

講師 ナチュラリー写真家 若林 信男 さん 定員 20人 参加料 無料

◆盆栽づくりの楽しさ

日時 7月 24日（日） 13：00～15：00

講師 岩見沢樹石会 吉川 茂 さん 定員 40人 参加料 無料

◆バラ園で絵手紙を書こう

日時 8月 7日（日） 13：00～15：00

講師 日本絵手紙協会 喜多登代子 さん 定員 20人 材料代 200円

編集・発行 北海道グリーンランド（空知リゾートシティ株式会社）

お問い合わせは 室内公園「色彩館」緑の相談コーナー 25-6111まで